

# 日本災害看護学会 令和6年能登半島地震活動報告

2024年2月9日(金)

活動隊員：増野園恵、藤田さやか

## 1. 活動日時

2024年2月9日(金) 0時～24時

## 2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(石川県珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 35人(一時避難者あり) 22世帯

## 3. 石川県の被害状況(2月8日14:00時点 内閣府情報) ※更新なし

人的被害 死者:241人 負傷者:1,182人

住家被害 全壊・半壊・一部損壊:18,478棟

## 4. 天候(2月9日時点 NHKニュース)

曇り 最高気温8℃ 最低気温-1℃

## 5. 活動の実際

5:30 救護班エリアにて記録物確認、ホットタオル配布

6:00 起床者にホットタオル配布 検温 健康状態の聞き取り

7:00 起床時間



7:30 朝食(配膳・下膳)

8:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

9:00 ラジオ体操 換気

環境整備(床掃除:モップ、掃除機、キッズスペースの拭き掃除)

9:30 長橋地区、集会所及び在宅避難者訪問、情報収集。

12:30 昼食(配膳、下膳)

13:30 片岩地区、集会所及び在宅避難者訪問、情報収集。

15:30 記録、環境整備

17:00 珠洲市保健医療福祉調整本部 zoom meeting

18:00 夕食(配膳、下膳)

19:00 大谷小中学校本部関係者 meeting、換気

20:00 健康状態の聞き取り

21:00 消灯、適宜対応

22:00 報告書作成

## 6. 支援活動と課題

### 【被災者への生活支援と健康支援】

- 起床された方からホットタオルを配布しながら検温・健康観察を実施。発熱者なし。昨日から、血圧手帳を配布している方が3名おり、いずれも収縮期血圧 Bp150mmHg と高値。自覚症状は認めず、定期的な測定を継続することをお伝えした。

- 9:30 ごろ、小中学生と教員が体育館に集合し、残った避難者とともにラジオ体操をしている。本日はリクエストにより英語バージョンで実施した。その後、換気・清掃を行なった。
- 避難所から車で 10~15 分の場所にある 2 地区（A・B 地区）を地域避難者のニーズ把握を目的に巡回した。避難者情報は避難所運営責任者より情報共有いただいた。
- A 地区の避難者名簿の登録者は 5 日時点で 31 人。うち 3 名はすでに県外避難をしていた。集会所に 10 名の避難情報があったが、うち 1 名は避難中の動物咬傷により骨折を伴う受傷で入院中。1 世帯 4 名は明日から隣県の宿泊施設への二次避難が決定していた。また、1 世帯 2 名はすでに自宅へ帰っていたため、明日からは集会場の避難者は 4 名（うち 1 名入院中）となる。日中は自宅の片付けや仕事などで集会場にいないことも多い。
- A 地区の自宅避難者は 21 名のうち、80 歳以上の高齢者と独居者に絞り、計 5 名の自宅訪問をした。要経過観察者は 1 名（80 代独居男性）で、自宅は停電・断水であるが、水は井戸水を使用可。食事は主食のみ自炊し、副食が不足。アルファ化米等の支援食は塩分が多く食べられないと。腰痛があり室内移動にも時間を要する。心身面と環境面の両方から、自宅での避難生活を継続していくには、支援が必要な状況であるため、要経過観察と判断し、避難所運営本部とも情報共有した。
- B 地区は、名簿登録者 16 名中 1 世帯 2 名は県外避難しており、14 名が自宅避難を継続。老人会会長より情報を得て、80 歳代後半から 90 歳代の 2 名の独居避難者を訪問した。2 名とも自宅は一部損壊があるものの電気は使用でき居住環境はある程度維持できており、買い物なども周囲の協力が得られており、困りごとはないとのこと。表情は明るく、気になる自覚症状もない。
- 地域巡回中に保健師チーム、栄養士チーム、児童相談所チームが避難所を訪問。栄養士チームとは、電話で情報を交換した。現在、避難所では 3 食炊き出しが提供されており、特別食等を食事に特別の配慮を必要とする避難者はいない。便秘予防のためにサンファイバー（発酵性食物繊維）の提供があり、避難所運営本部に報告し、避難者に説明後に物資スペースに設置することとした。その他、食事に関するチラシも提供があったため、掲示板に貼付。
- 自宅の片付けなどして帰所する避難者が、手洗いをしていないため、適宜声かけをする。また、手帳保持者には血圧測定を実施。
- 手に傷があり絆創膏を交換していなかった 1 名の手浴を実施し、治癒を確認。
- 昨日、足浴を実施した下肢浮腫のある 1 名に、本日も足浴を実施。明日は蛸島小学校の自衛隊風呂への入浴が決まり、14 時に迎えが来るため、それまでに入浴準備を進めることとした。
- 課業開始時間が早まるなど徐々に学校の機能を戻しつつある時期であり、来週からの避難所スケジュールが更新される。

### 【課題】

- 避難所内避難計画について（想定は地震と津波、火事。役割、避難経路、救護班の避難時持ち出し物品の内容）は避難所運営メンバーを交えて検討が必要である。→継続
- 自宅避難者の中にも要支援者がいることを把握したため、必要組織と情報共有をし、インフラ復旧が完了するまでの継続支援の方法を探る。

【活動の様子】

